こんな『お子さんの姿』を目指して、「家庭」・「地域」・「学校」が手をとりあって、いっしょに歩みましょう！

夢と希望をもち、可能性に挑戦する子

□自分の考えや、できるようになったことや分かったことを、仲間に伝えたり、ノートにまとめたりする子。

□進んで家庭学習に取り組み、できることや分かることを確かめたり、増やしたりする子。

□自分の考えと仲間の考えを比べて聞くことで、自分の思いや考えを広げたり、深めたりする子。

□十分な睡眠をとり、朝食を食べて元気に登校する子。

□英語の授業では、英語を使って進んでコミュニケーションをする子。

社会の持続的な発展をけん引できる子

□よりよい学級をつくるために、目標に向かって仲間と共に話し合ったり、活動したりする子。

□学校のよいことを紹介でき、自分もその活動に参加する子。

□仲間と友達や自分のよさを紹介しあい、自分のよさに自信をもてる子。

□仲間が嫌だなと感じることを言ったり、したりせず、仲間がうれしいな、もっとがんばりたいなと思うようなことを言ったり、したりする子。

【裏面に続く】

『目指す子供の姿』

生涯にわたってスポーツや文化を学び、生かし、活躍できる子

□地域の様々な行事に進んで参加し、地域の方と関わる子。

□学校や家のお手伝いや町内のボランティア活動に参加する子。

□学校や家、近所で「あったか言葉」を使って話す子。

自分自身を大切にして成長する子

□「命を守る訓練」を通して、地震や火災、大雨や台風などから自分の命を守るためには、どのように行動すればよいかが分かり、落ち着いた行動ができる子。

□自転車に乗るときは、安全のために必ずヘルメットをかぶる子。

□交差点では「ドライバーとのアイコンタクト」に心がけ、安全に横断する子。

□学校で遊ぶときには、けがをしないように、遊具や施設や道具を使う子。

□タブレットなどの使い方のルールを守り、進んで調べたり、まとめたりする子。

【保護者のみな様へ】

羽島郡二町教育委員会と各学校では、『目指す子供の姿』の実現に向けて、教育活動を推進していきます。

子供たちにも『目指す子供の姿』を示し(※学年に応じた分かりやすい言葉で伝えます)、前期中間（夏休み前）と、後期中間（冬休み前）に『目指す姿にどれだけ近づいたか？』について、子供たち自身が「A～D」の４段階で評価します。このことを通して、子供たち自身にも目標をもたせ、実現に向けて努力できるようにしたいと考えています。

そして、教師は子供たちの評価結果から、自分の指導を振り返り、その指導方法の改善を図る機会とします。

子供を望ましい姿に育てるためには、子供を取り巻く全ての大人が「よい姿を見逃さず、その場で誉め、認める」ことが効果的です。ご家庭でも、お子さんの姿や取り組む様子を誉め、認め、励まし、子供が自分を語る様子に耳を傾ける時間をもち、望ましい姿を話題にすると、お子さんは望ましい姿を目指してがんばることと思います。

「子供」・「保護者」・「学校」・「教育委員会」が、「望ましい姿＝目指す子供の姿」の実現に向けて、手をとりあって一緒に歩みたいと思います。お子さんのために、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

羽島郡二町教育委員会、羽島郡二町各小・中学校

【裏面】